

令和 7 年度 第 1 回 学校運営協議会議事録

校名	府立吹田高等学校
校長名	大川 賢司
開催日時	令和 7 年 6 月 27 日(金)15 : 00～17 : 00
開催場所	府立吹田高等学校 本館 2 階 会議室
出席者（委員）	岡崎守夫会長、北波道子副会長、樋口由美子委員、酒井睦美委員、松本光稔委員
出席者（学校）	大川賢司校長、浅尾義和教頭、島田敬三事務長、加藤靖史首席、小澤靖典首席、末谷亮太教諭
傍聴者	0 名
協議資料	令和 7 年度 学校経営計画及び学校評価
備考	

議題等（次第順）
・ 令和 7 年度学校経営計画及び学校評価について 「承認されました」 ・ 令和 10 年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について ・ 姉妹校について ・ その他
協議内容・承認事項等（意見の概要）
○令和 7 年度学校経営計画及び学校評価について以下の通り質疑応答・意見交換を行った。 質問：交通マナーについて。自転車のルールが厳しくなるが、特別に説明する機会はあるか 回答：予定をしている。すでに HP でチラシをアップロードしている。また全校生徒の前で啓発の集会を行う予定。急には無理かもしれないが、命を守るために日々指導していく。 質問：昨今働き方改革が叫ばれているが、講習補習などの学習保障と働き方改革のバランスはどのような状況か。 回答：生徒に必要なことはしなければならない。忙しくてできない教員もいるが、学校全体で講習補習をする文化をさらに醸成したい。 進級に向けての補習等は最優先。生徒のニーズは高いので声掛けをしていきたい。働き方改革の観点から勤務時間内で無理のない範囲で行っていきたい。 質問：相談できない生徒が多いことについて。カウンセラーはいるのか。そこにまで到達しないのか。 回答：カウンセラーには予約が必要。毎日来られるものではない。生徒からするとカウンセラーは少しハードルが高いのかもしれない。教員以外の大人と相談する機会が少ないのかもしれない。 質問：部活動とアルバイトの両立はどのようにしているのか。 回答：週二回程度は休みにしている部活が多い。予定を事前に示すことで週 2 ～ 3 回、アルバイトは可能である。 ○令和 10 年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について 質問：特色枠を設ける上で大阪府は予算がついたりするのか。 回答：ついていない。

意見：部活動は居場所作りにもなる上に、教育的効果は高いはず。それに対してやはり予算等はつけてほしい。

意見：新たな取り組みをするのには新たなスキームが必要。新たなことをするにはやはり予算が必要。

意見：中学校の不登校が増えているので、そういう生徒たちも応援してほしい。吹田高校でやり直せることはいい取り組み。特色枠で対応しようとしているのに教育庁から人をあてがってもらえないのか。

○姉妹校について

質問：スケジュールについて

回答：今年度中に決まれば、姉妹校を締結し、締結のために現地に赴く予定である。

質問：台湾を予定していると聞いたが、支給額10万円だとどれくらい生徒の自己負担が出るのか。

回答：まだ詳細な日数が出ていないのでわからない。できるだけ少なくしたい。

○その他

意見：音楽準備室とLAN教室の空調について同窓会として支援していきたいと考えている。

回答：大変ありがたい。

意見：生徒が使わない部屋にエアコンがつかないというのはおかしい。教員の体調管理のためにも、大阪府が設置するべきだ。

意見：先生が疲弊する。教員の心身が充実していないければ、生徒は先生に憧れを持たない。

次回の会議日程

日時

令和7年11月21日（金）14：30～

会場

府立吹田高等学校 本館2階 会議室